



PENTARO

令和 3 年 1 月 27 日

～今が我慢の時～

院長 三和 拓人

2021 年が明けましたが、緊急事態宣言も発出され、世相は暗いまです。今月はその原因である新型コロナウイルス感染症について数点まとめてみました。

2020年 岐阜県年齢別人口(推計)



出典：国立社会保障・人口問題研究所HP

岐阜県内の感染者数割合(直近10日間)



出典：岐阜県庁感染症対策推進課HP

感染割合(人口分布別の感染者/人口)

1/9(土)-1/18(月)の10日間の岐阜県内感染者数：589人

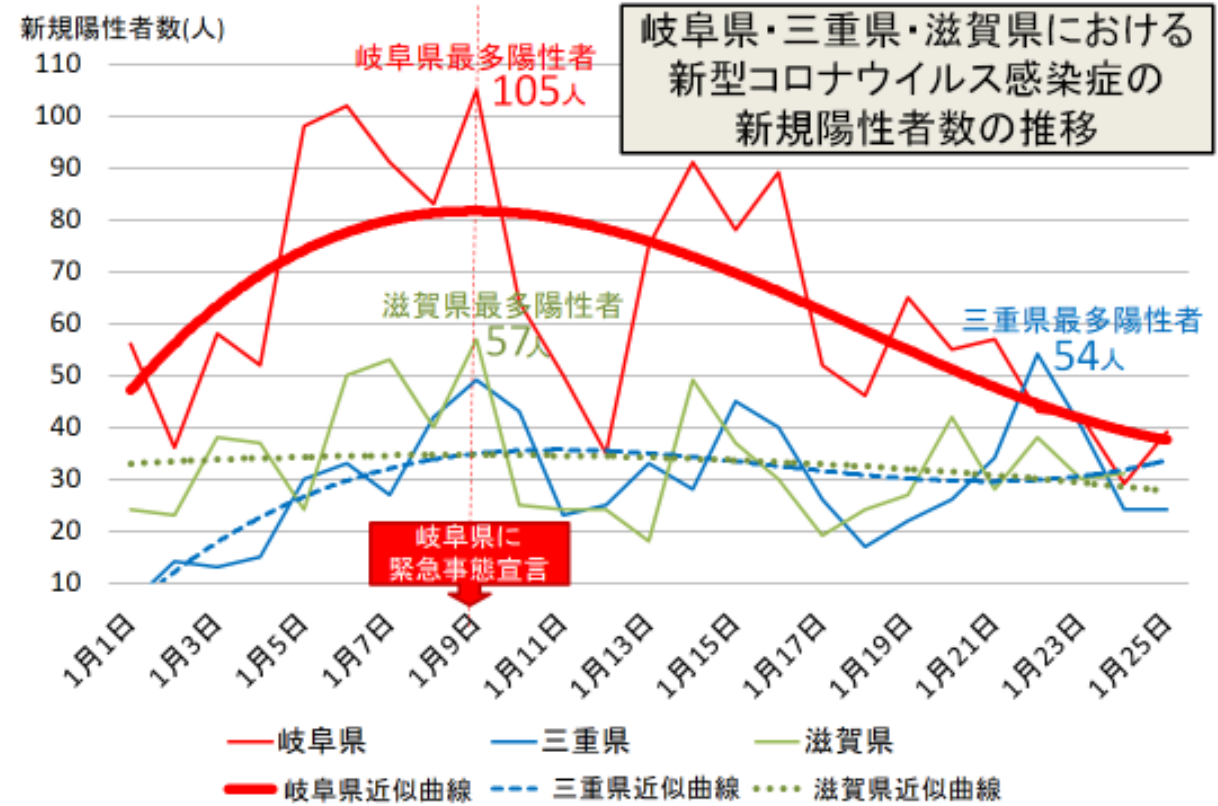


若い世代の感染割合が高い

岐阜県の感染者数全体でも若い世代は 46%を占めますが、それを年齢分布別(つまり母集団を等しくした場合の割合)にまとめると、ゆに感染者総数の半数を若い世代が占めます。これは若い世代の罹患率が高い(コロナ感染症有病割合が高い)事を示しております。

かといって、若い世代が感染対策をおろそかにしているとは思えません。活動量も中高年よりも多いでしょうし、10代ですと義務教育上学校で勉学に励まないといけません。そもそも5人以上の会食がNGで、千人以上が集まる共通一次テストがOKな世代ですからね。必然的に人と会う機会が多く

なり、それに伴い感染リスクが高まり、結果感染割合が高くなるのでしょね。仕方のないことだと思います、少年老い易くですから。



岐阜県の新規陽性者数が明らかに減少している

一方で、緊急事態宣言後は如実に陽性者数が減ってきております。今は不要不急の外出を控え、耐える時。それが数字に現れているのは非常に嬉しいですね。フランス・ドイツ・イギリスは、ロックダウン(都市封鎖。店が時短どころか全く営業していない状態)を施行していても陽性者数が減りませんから。その理由は現実的に人が動いているから感染が収まらないのですよね。こういうのを目の当たりにすると、日本人は民度が高い真面目な民族だなーと誇りに思います。

世間は五輪開催の是非で議論しておりますが(五輪非開催だと、何兆円の損失を補填する為に消費税が20%前後に上がる恐れがあるのにマスコミ・政治家はそれを言わないし)、どうせIOCのツルの一声(マラソンの開催が東京→札幌になったのも一例)で決まるのですから。責任の無いくだらない議論をしているくらいなら、もっと足元を見たコロナ議論をして欲しいですね。